

IAPH技術委員会の活動概況について



本部事務局

鈴木健之

IAPH 技術委員会

○ 気候とエネルギー Climate & Energy

- IMOの海運からのGHG削減施策に協力
 - 途上国への基金設立の必要性
 - CIIの欠陥について指摘
- WPCAP(世界港湾気候アクションプログラム)の吸収
 - ステアリンググループの設置
 - CMF(新燃料)、PRL(燃料に対する港の準備度)、OPS(陸電)が傘下のWGという位置づけに
- ESIの運営と改革
 - Core(新評点方式)への移行(2026.1~)
 - 接岸中のスコア(@バース)の改善模索

○ データ連携 Data Collaboration

- IMOにおけるロビー活動
 - ✓世界税関機構(WCO)との連携
 - ✓世銀との手続きの電子化における連携
 - ✓サイバーセキュリティ強化への対応(第二弾)
 - ✓サプライチェーン全体の円滑化と強靱化
 - ✓WEF(世界経済フォーラム)との連携
- 港湾の仕事の未来(Future of Work)P

○ リスクと強靱性 Risk & Resilience

- IMOにおけるロビー活動
- ISPSコードの強化 [密貿易・組織犯罪対応]
- ツール：
 - ✓リスクと強靱性ガイドラインの普及
 - ✓世銀発行：港湾改革ツールキット
- 世界港湾トラッカー
- 関連トピック：船上火災への対応（港湾側の備え）

○ 計画運営財務 Planning, Operation & Finance

- コンテナターミナルの用途転換
- PPPによる港湾経済への負の影響の防止対策

法律Legal とクルーズ Cruise

- 活動停滞中

Recent submissions to the IMO

World ports methodology for assessing GHG performance of ships for use in port incentive schemes, and rationale for not directly integrating CII	(MEPC 82-6-29)
Study on port climate adaptation and decarbonization investment requirements of developing nations	(ISWG-GHG 17-2-12)
Proposal of new output to revise the Revised guidelines for the prevention and suppression of the smuggling of drugs, psychotropic substances and precursor chemicals on ships engaged in international maritime traffic	(FAL 48-17-2)
Summary report of survey on digitalization	(FAL 48-5-3)
Guidelines on cooperation between customs and port authorities	(FAL 48-5-2)
Safeguarding the cybersecurity of the Maritime Single Window	(FAL 48-5-5)
Port Community Systems: Lessons from Global Experience	(FAL 48-7-1)
Glossary of climate change definitions in relation to shipping	(MEPC 81-7-3)

最近のIMOへの提出文書（共同提案含む）

- 港湾インセンティブスキームで船舶のGHG排出実績を評価するための世界港湾方法論、およびCIIを直接統合しないことの根拠(MPEC 82-6-29)
- 途上国の港湾気候適応策および脱炭素化投資要件に関する研究(ISWG-GHG 17-2-12)
- 国際海上交通に従事する船舶における麻薬、向精神薬、前駆化学物質の密輸防止及び鎮圧のための改正ガイドラインの改正に向けた新たな成果物の提案(FAL 48-17-2)
- デジタル化に関する調査の概要報告書(FAL 48-5-3)
- 税関と港湾当局間の協力に関するガイドライン(FAL 48-5-2)
- 海上シングルウィンドウのサイバーセキュリティ確保(FAL 48-5-5)
- 港湾地域システム: グローバルな経験からの教訓(FAL 48-7-1)
- 海運に関する気候変動の定義の用語集(MEPC 81-7-3)

IAPH 技術委員会DAYS in ロンドン

○ **日時：**令和7年(2025) 3月26日(水)～28日(金)
IMO FAL49 [3月10日～14日]とMEPC83 [4月7日～11日]の間

○ **場所：**ロンドン市内 (ICS本部会議室)

○ 総会・世界港湾会議から技術委員会を切り離す形で設置

○ **参加費無料**

○ **対面とオンラインのハイブリッド開催** (但しロンドン時間)

○ **プログラムの概要** (詳細は最終決定前)

[1日目 午後]

ー 開会

ー WPSPの現状と今後

[2日目 終日]

ー 2つのセッション×4コマ、計8セッションを並行開

催ー技術委員会に即したテーマ (深堀 and/or 横断的)

[3日目 午前]

> 気候エネルギー & データ連携の**ステアリンググループ**会合

昨年の8セッション

第一セッション

- 代替船舶燃料と港湾準備度
- サプライチェーンの可視化

第二セッション

- 代替海運燃料ハブ
- 不正取引と組織犯罪

第三セッション

- インセンティブ：ESI
- 港湾の仕事の未来

第四セッション

- クルーズ港のエコ認証
- IAPH会員情報の活用

※計画・運営・財務委員会は内容がIMOと関連が薄いため、開催なし

技術委員会DAYS 2025年3月26日～28日

プレナリー

港湾業界の現状（会員アンケートによる新レポートのプレビュー） + #IAPH2025

世界港湾持続可能性プログラム - 2025年に向けた次のステップと表彰制度

IMO規制アップデート

ストリーム1

環境船インデックス ESI 2.0

仕事の未来／世界経済フォーラム

未来の燃料

船上での炭素回収

NOx排出量／大気質

クルーズの持続可能性

ストリーム2

サイバーセキュリティ

人工知能／量子コンピューティング

気候の回復力

貿易関税

サプライチェーン強靱化タスクフォース（データ）

IMOデジタル化戦略



LONDON
March 26-28, 2025

IAPH
Technical
Committee
Days



日 付 日本時間（現地時間）	4/18 （火）	4/19 （水）	4/20 （木）
17:00 (9:00)	ご参考： 一昨年の例	第一セッション ➤ 代替船舶燃料と港湾の準備 ➤ サプライチェーンの強靱化	技術委員会（1） ➤ クルーズ ➤ 法律
18:00 (10:00)			
18:30 (10:30)			技術委員会（2）
19:00 (11:00)		第二セッション ➤ MBMと収益の利用 ➤ リスクとレジリエンス	➤ 気候・エネルギー ➤ リスク・レジリエンス ➤ データ連携
20:00 (12:00)			全体会合
20:30 (12:30)			
21:00 (13:00)			
21:30 (13:30) 23:00 (15:00)	全体会議 各委員会の概要	第三セッション ➤ インセンティブ：ESI ➤ 寄港の最適化とデジタル	
23:30 (15:30) 25:00 (17:00)	全体セッション WPSP: 現在と未来	第四セッション ➤ 港湾でのイノベーション ➤ 陸電	

ESI Coreへの移行

○ IMOで2027年頃からGHG規制が運用開始される見込み

○ ESIは2025年1月1日から新しい評点システム(ESI Core)のデータ入力を受付開始
(半年分の燃料消費記録がベースになるので、半年後から点数が出る。)

現行

NOx	SOx	GHG
66.6	33.3	30

Core

基本		100	ボーナス加点
Air Quality	GHG		新技術
NOx	Fuel Quality	Fuel Intensity	Innovation
40	20	40	20